RICOH

imagio

MP 9002/7502/6002シリーズ

使用説明書
〈用紙の仕様とセット方法〉

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

1. 原稿をセットする

セットできる原稿の種類とセット方法を説明します。

セットできる原稿サイズと紙厚

原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）にセットできる原稿のサイズと紙厚について説明します。

原稿セット先	原稿サイズ	原稿紙厚
原稿ガラス	A3（297×420mm）、11×17（279×432mm）まで	-
自動原稿送り装置（ADF）（片面）	A3～B6、11×17～$8^1/_2$×11	40～128g/m^2（35～110kg）
自動原稿送り装置（ADF）（両面）	A3～A5、11×17～$8^1/_2$×11	52～128g/m^2（45～110kg）
自動原稿送り装置（ADF）（サイズ混載）	A3、B4、A4、B5、11×17、$8^1/_2$×11	52～81g/m^2（45～70kg）

補足

- 自動原稿送り装置（ADF）にセットできる枚数は、「マイペーパー」のとき、約200枚です。

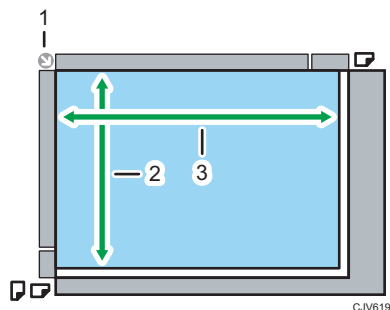
最大読み取り範囲

原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）にセットした原稿の読み取り範囲について説明します。

原稿ガラスにセットしているとき

原稿を原稿ガラスにセットしたときの最大読み取り範囲について説明します。

1

原稿ガラスにセットしたときの最大読み取り範囲

1. **セット基準**
2. **縦の長さ**

   297mm
3. **横の長さ**

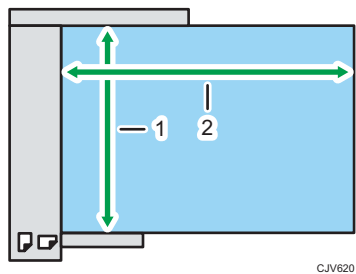
   432mm

原稿ガラスにセットできる最大定形サイズ

A3、11×17

自動原稿送り装置（ADF）にセットしているとき

原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットしたときの最大読み取り範囲について説明します。

自動原稿送り装置（ADF）にセットしたときの最大読み取り範囲

1. **縦の長さ**

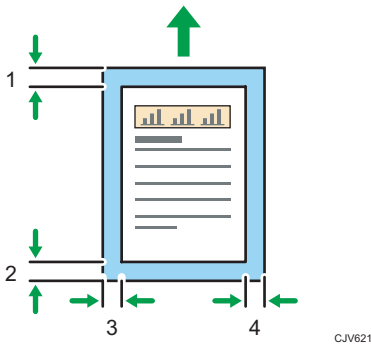
   297mm
2. **横の長さ**
   - コピー機能のとき

     1,260mm
   - ファクス機能のとき
     - 片面：1,200mm
     - 両面：432mm

自動原稿送り装置（ADF）にセットできる最大定形サイズ

A3□、11×17□

画像欠け範囲

原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）に正しくセットしても、原稿の周囲から内側数 mm は読み取れないことがあります。

1. 先端：4±2.0mm
2. 後端：2±2.0 mm
3. 左：2±1.5mm
4. 右：0.5mm 以上

自動的に検知される原稿サイズ

自動的に検知される原稿サイズは下記のとおりです。

原稿セット先	A3	B4	A4	B5	A5	B6	11×17	11×15	8 1/2×11
原稿ガラス	○	○	○	○	○*1	×	×	×	×*4
自動原稿送り装置(ADF)	○	○	○	○	○	○*2	○	×*3	○

○は、原稿サイズが自動的に検知されることを表します。

×は、自動的に検知されないことを表します。

*1 A5を原稿ガラスで検知できるようにするには、サービス実施店に連絡してください。

*2 B6の両面原稿は使用できません。

*3 11×17の代わりに11×15を検知できるようにするには、サービス実施店に連絡してください。

*4 A4の代わりに8 1/2×11、またはA4の代わりに8 1/2×11を原稿ガラスで検知できるようにするには、サービス実施店に連絡してください。

補足

- 自動検知されないサイズの原稿を自動原稿送り装置(ADF)で読み取ると、原稿とは異なる用紙サイズで読み取られます。
- 自動検知されないサイズの原稿をセットするときは、原稿のサイズを設定してください。サイズの設定を行わないと画像が欠けたり正しく出力されないことがあります。設定方法は、『コピー/ドキュメントボックス』「原稿のサイズを指定する」、『ファクス』「読み取りサイズを設定する」、『スキャナー』「読み取り条件の設定項目」を参照してください。

サイズを読み取りにくい原稿

次のような原稿はサイズが自動的に検知されないため、ファクスの送信先で正しいサイズの用紙が選択されないことがあります。また出力するときも正しいサイズの用紙が選択されないことがあります。

次のような原稿をセットするときは、手動で用紙サイズを選択してください。

- 付せんやインデックスなど、はみ出た部分のある原稿
- OHPフィルムやトレーシングペーパー(第二原図用紙)のように透明度の高い原稿

- 文字や絵柄部などが多く、全体に黒っぽい原稿
- 部分的に塗りつぶしてある原稿
- 周囲が塗りつぶされている原稿
- 表面がツルツルすべる原稿
- 本などの原稿を開いてセットし、厚さが 10mm 以上のとき

1

原稿ガラスにセットする

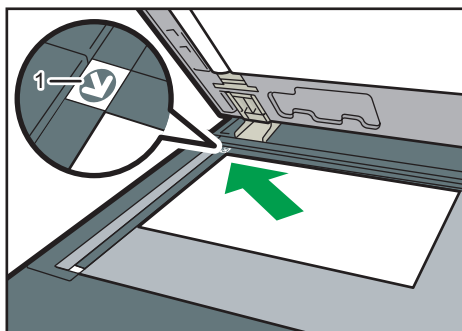
重要

- 自動原稿送り装置（ADF）は、強く跳ね上げないようにしてください。自動原稿送り装置（ADF）のカバーが開いたり破損したりすることがあります。

1. 原稿カバー、または自動原稿送り装置（ADF）を上げます。

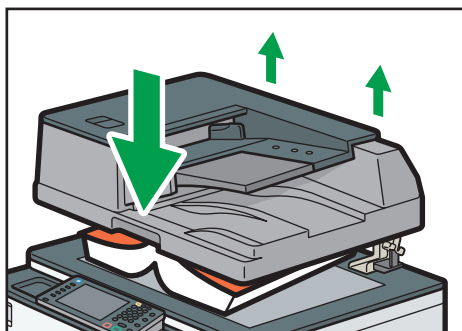
原稿カバー、または自動原稿送り装置（ADF）の開閉で原稿サイズが読み取られます。30 度以上の角度で確実に開いてください。

2. 読み取りたい面を下にし、左奥のセット基準に原稿を合わせてセットします。

原稿は先頭ページから順にセットします。

1. セット基準

3. 原稿カバー、または自動原稿送り装置（ADF）を閉めます。

補足

- 厚みのある本や立体物を原稿ガラスの上にセットして自動原稿送り装置（ADF）を閉めると、自動原稿送り装置（ADF）の奥側が原稿の厚みに応じて持ち上がります。自動原稿送り装置（ADF）の奥側に手を入れたまま、自動原稿送り装置（ADF）を閉めないでください。

- 修正液やインクなどが完全に乾いていない原稿はセットしないでください。原稿ガラスが汚れ、その汚れが読み取られます。
- 原稿サイズを指定する方法は、『コピー/ドキュメントボックス』「原稿のサイズを指定する」、『ファクス』「読み取りサイズを設定する」、『スキャナー』「読み取り条件の設定項目」を参照してください。
- セットできる原稿サイズについては、P.3「セットできる原稿サイズと紙厚」を参照してください。

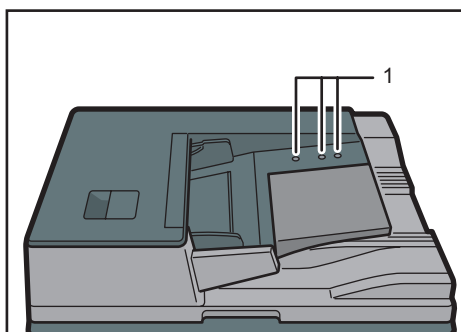
原稿忘れ検知

原稿ガラスに原稿をセットして読み取ったあと、セットした原稿を忘れないようにブザー音とエラーメッセージが表示されます。

ブザー音は、「ピーピーピーピーピー」と同じパターンを 4 回繰り返します。

［基本コピー設定］の［原稿忘れブザー音］で、設定を変更できます。詳しくは、『コピー/ドキュメントボックス』「基本コピー設定」を参照してください。

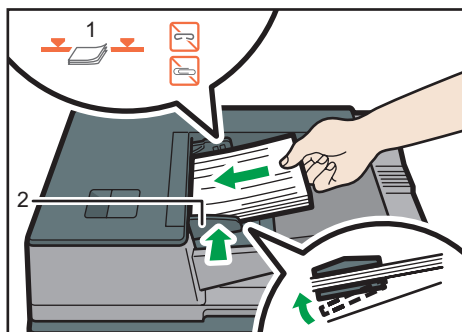
自動原稿送り装置（ADF）にセットする

自動原稿送り装置（ADF）のセンサーを手でふさいだり、原稿を浮かせたりしないでください。サイズが正しく読み取れなかったり、原稿づまりのメッセージが表示されたりすることがあります。また上カバーの上に物や原稿などを置かないでください。誤動作の原因になります。

1. センサー

1. 原稿ガイドを原稿サイズに合わせます。

2. 読み取りたい面を上にし、原稿をそろえて自動原稿送り装置（ADF）にまっすぐセットします。

原稿は上限表示を超えないようにセットしてください。

原稿は先頭ページが一番上になるようにセットします。

1. 上限表示
2. 原稿ガイド

補足

- 自動原稿送り装置（ADF）でできることについては、『コピー/ドキュメントボックス』「原稿の設定」を参照してください。
- カールの大きい原稿は、矯正してからセットしてください。

- 複数枚の原稿が重なったまま一度に送られないように、原稿をパラパラとほぐしてからセットしてください。
- 自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットすると、自動原稿送り装置（ADF）の底板が自動的に上昇します。
- 修正液やインクなどが完全に乾いていない原稿はセットしないでください。読み取りガラスが汚れ、その汚れが読み取られます。
- セットできる原稿サイズについては、P.3「セットできる原稿サイズと紙厚」を参照してください。

自動原稿送り装置（ADF）にセットできない原稿

不適切な原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットすると、紙づまり、原稿破損、白すじ、黒すじの原因になることがあります。

次のような原稿は、原稿ガラスにセットしてください。

- ステープラーの針やクリップのついた原稿
- 穴、破れのある原稿
- そり、折れ、しわのある原稿
- はり合わせた原稿
- 粘着テープやのりのついた原稿
- 感熱紙、アート紙、銀紙、カーボン紙、導電性の用紙などのように表面が加工された原稿
- ミシンがけ原稿
- インデックスや付せんなど、はみ出た部分のある原稿
- トレーシングペーパー（第二原図用紙）などのようにすべりにくい原稿
- 登記簿などに使用されるような薄くてやわらかい原稿
- 郵便はがきのような厚い原稿
- 本などのようにとじてある原稿
- OHP フィルムやトレーシングペーパー（第二原図用紙）などのように透明度の高い原稿

補足

- こするとかすれやすい原稿（鉛筆などで書かれた原稿）をセットすると原稿が汚れることがあります。

2. 用紙をセットする

給紙トレイや給紙テーブルに用紙をセットする方法を説明します。

用紙をセットするときの注意事項

⚠注意

- 用紙（記録紙）を交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

重要

- **セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。**

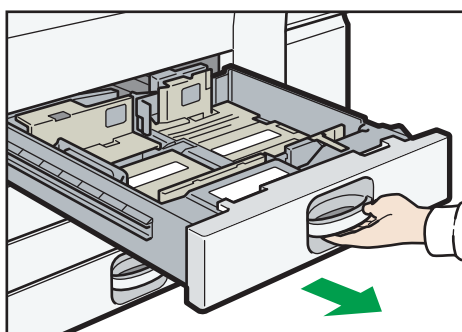
補足

- 複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をパラパラとほぐしてからセットしてください。
- トレイに少量の用紙が残っている状態で用紙を補給すると、重送を起こすことがあります。トレイ内の用紙を一度取り出して、補給する用紙とともに、パラパラとほぐしてからセットし直してください。（重送とは紙が重なって送られることです。）
- カールしている用紙、そりのある用紙は直してからセットしてください。
- セットできる用紙サイズ、種類は P.37「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
- ご使用の環境により、まれに用紙のこすれによる異音が発生することがありますが、本機の故障ではありません。

トレイ 1（タンデムトレイ）に用紙をセットする

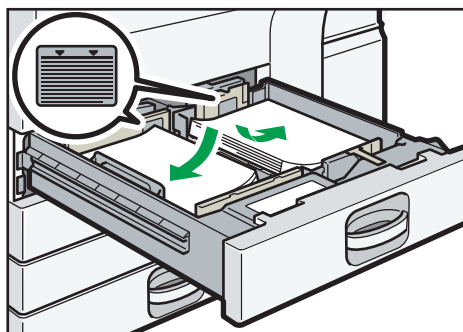
重要

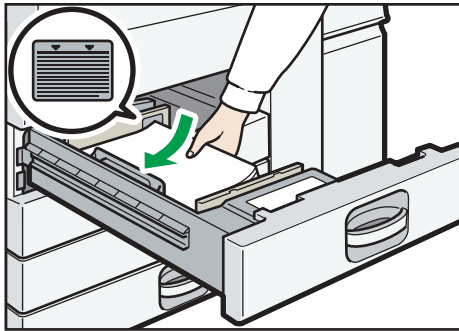
- 右側の用紙がなくなると、左側の用紙が自動的に右側に移動します。用紙が移動する音がしているときは、トレイ 1（タンデムトレイ）を引き出さないでください。
- 右の用紙は右側によせて、左の用紙は左側によせてください。
- トレイ 1（タンデムトレイ）は A4▢専用の給紙トレイです。用紙サイズを変更するときは、サービス実施店に連絡してください。

1. トレイ 1（タンデムトレイ）を引き出します。

CJV101

2. 印刷する面を下にして、用紙をそろえてセットします。

上限表示を超えないようにしてください。

- トレイの両側が引き出せたとき

CJV102

- トレイの片側が引き出せたとき

CJV103

3. トレイ１（タンデムトレイ）をゆっくりと奥まで押し込みます。

補足

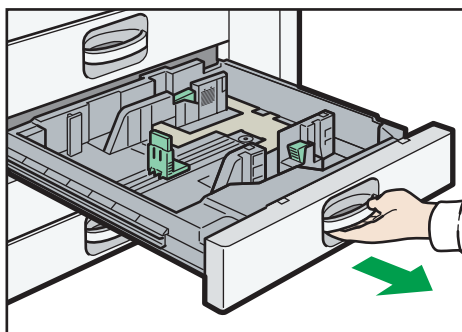
- トレイ１（タンデムトレイ）から給紙しているときでも、用紙を補給することができます。給紙中のときは、トレイの左半分が引き出せます。

トレイ 2〜4 に用紙をセットする

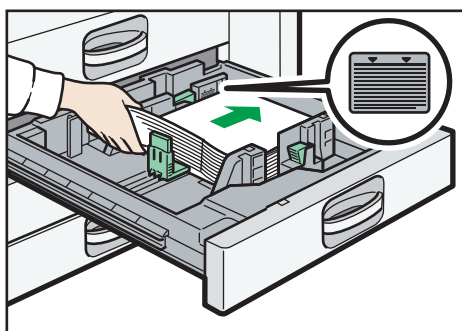
用紙のセット方法は各トレイとも同じです。ここでは、トレイ 2 に用紙をセットする方法を例に説明します。

重要

- 給紙トレイを戻すときに勢いよく押し込むと、トレイのサイドフェンスの位置がずれることがあります。
- 用紙の先端が右側にそろっていることを確認してください。
- 用紙を少数枚セットしたときは、サイドフェンスを寄せすぎないでください。サイドフェンスを寄せすぎると、端が折れたり、用紙がつまったり、52〜59g/m^2（45〜51kg）の用紙を使用したときにしわになることがあります。

1. 給紙トレイをゆっくりと引き出します。

CJV104

2. 印刷する面を下にして、用紙をそろえてセットします。

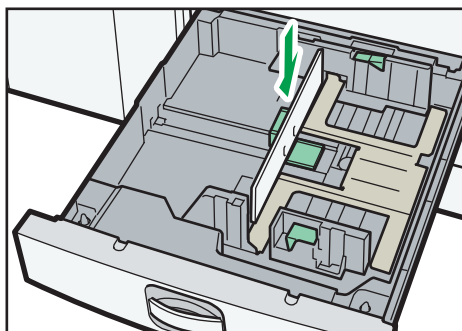
上限表示を超えないようにしてください。

CJV105

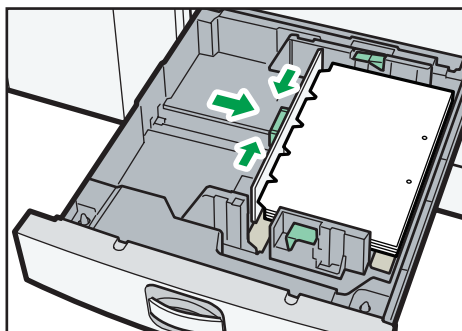
3. 給紙トレイをゆっくりと奥まで押し込みます。

補足

- 各給紙トレイには、サイドフェンスやエンドフェンスの位置を変更して、いろいろなサイズの用紙をセットすることができます。用紙サイズを変更するときは、P.32「トレイ 2～4 の用紙サイズを変更する」を参照してください。

トレイ 2～4 にインデックス紙をセットする

- インデックス紙をセットするときは、オプションのインデックスフェンスを必ず使用してください。

CJW101

- インデックス紙は、インデックス部がインデックスフェンスの方を向くようにセットしてください。
- インデックスフェンスがインデックス紙のサイズに合うように、バックフェンスの位置を調整してください。

CJW102

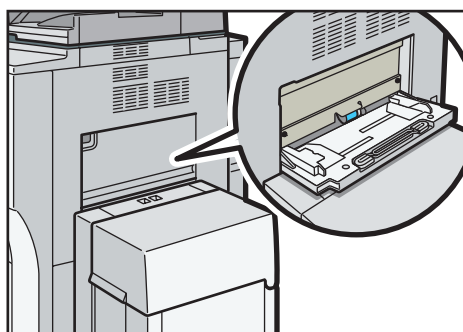
手差しトレイに用紙をセットする

給紙トレイにセットできないサイズの用紙や、はがき、OHP フィルム、ラベル紙（ハクリ紙）などをセットできます。

重要

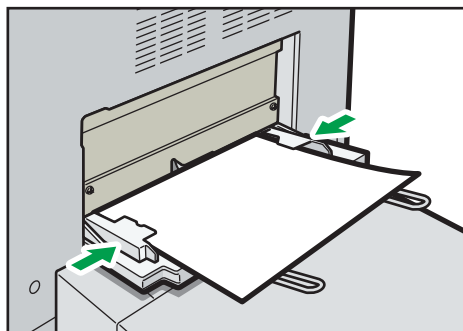
- 手差しトレイにセットできる枚数は用紙の種類によって異なります。用紙は、用紙ガイド板の間に挿入できる量をセットしてください。上限を超えてセットすると、斜めに印刷されたり、用紙がつまったりする原因となります。用紙種類ごとのセットできる上限枚数については、P.37「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。

2

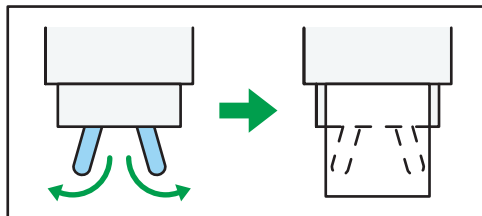
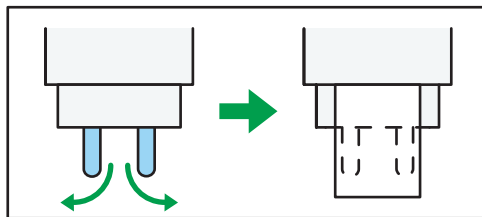
1. 手差しトレイを開きます。

CJW115

2. 印刷する面を上にし、「ピッ」というブザー音が鳴るまで用紙を軽く差し込みます。

3. 用紙ガイド板を用紙サイズに合わせます。

用紙ガイド板が用紙サイズに合っていないと、斜めに印刷されたり、用紙がつまる原因になります。

CJW116

補足

- 手差しトレイを使用してコピーするときは、『コピー/ドキュメントボックス』「手差しトレイからコピーする」を参照してください。パソコンから印刷するときは、P.20「プリンター機能で手差しトレイを使用するときの設定」を参照してください。
- 用紙の種類によっては手差しトレイに用紙がセットされていても、用紙がセットされていない表示になることがあります。そのときは用紙をセットしなおしてください。
- A4▭以上の用紙をセットするときは、用紙支持板を引き出します。用紙支持板は、セットする用紙の幅に合わせて間隔を調整してください。
    - 幅の広い用紙をセットするとき

    - 幅の狭い用紙をセットするとき

- [基本設定] の [ブザー音] を [OFF] にすると、手差しトレイに用紙を差し込んだときに「ピッ」というブザー音が鳴りません。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。
- 印刷中に、セットした用紙が検知されなくなったときは、用紙をセットし直してください。
- 自動的に読み取れないサイズの用紙をセットするときは、用紙のサイズを指定してください。手差しトレイで自動的に読み取れるサイズは、P.37「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。用紙のサイズを指定する方法は、P.20「プリンター機能で手差しトレイを使用するときの設定」または『コピー/ドキュメントボックス』「手差しトレイからコピーする」を参照してください。
- 厚紙や OHP フィルムなどをセットするときは、用紙サイズと用紙種類を設定します。
- レターヘッド紙をセットするときは、セット方向に注意が必要です。詳しくは、P.28「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）」を参照してください。
- 手差しトレイには、はがきをセットできます。セットするときは、正しい向きでセットしてください。詳しくは、P.45「はがき」を参照してください。

2

プリンター機能で手差しトレイを使用するときの設定

重要

- ［プリンター初期設定］の［システム設定］の［トレイ設定選択］で、［手差しトレイ］を［機器側設定優先］に設定すると、プリンタードライバーでの設定よりも、本機の操作部での設定が有効になります。詳しくは、『プリンター』「システム設定」を参照してください。
- ［トレイ設定選択］の［手差しトレイ］の初期値は［ドライバー/コマンド優先］に設定されています。

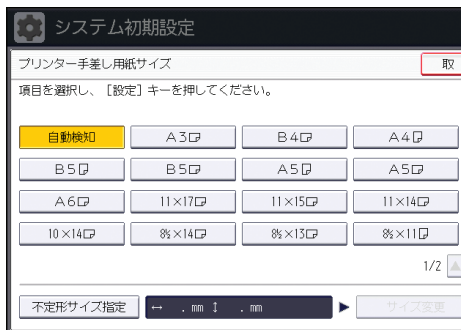
補足

- ここで設定した内容は、次に設定し直すまで有効です。印刷が終了したら、次に作業をする人のために、元の状態に設定し直してください。
- パソコンから印刷する方法は、『プリンター』「印刷する」を参照してください。
- 工場出荷時、［用紙設定］の［プリンター手差し用紙サイズ］は［自動検知］に設定されています。

定形サイズの用紙をセットする

1. ［初期設定/カウンター］キーを押します。

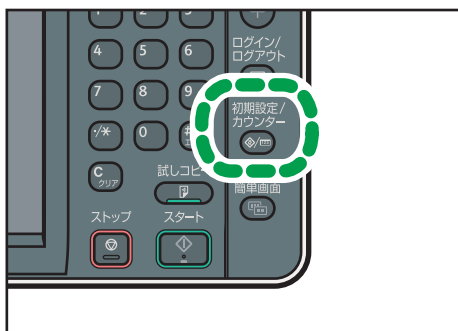
2. ［用紙設定］を押します。
3. ［プリンター手差し用紙サイズ］を押します。

4. 用紙サイズを選択します。

5. ［設定］を押します。

6. ［初期設定/カウンター］キーを押します。

補足

- 厚紙や OHP フィルムなどをセットするときは、用紙サイズの他に用紙種類を設定してください。

不定形サイズの用紙をセットする

1. ［初期設定/カウンター］キーを押します。

2. ［用紙設定］を押します。

3. ［プリンター手差し用紙サイズ］を押します。

4. ［不定形サイズ指定］を押します。

   不定形サイズがすでに設定されているときは、［サイズ変更］を押します。

5. ［タテ］を押してから、テンキーで用紙のサイズを入力し、［#］を押します。

6. ［ヨコ］を押してから、テンキーで用紙のサイズを入力し、［#］を押します。

7. ［設定］を 2 回押します。

8. ［初期設定/カウンター］キーを押します。

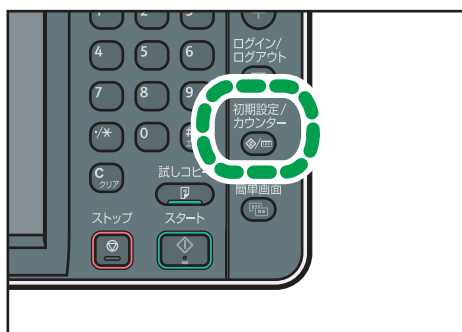
補足

- 厚紙や OHP フィルムなどをセットするときは、用紙サイズの他に用紙種類を設定してください。

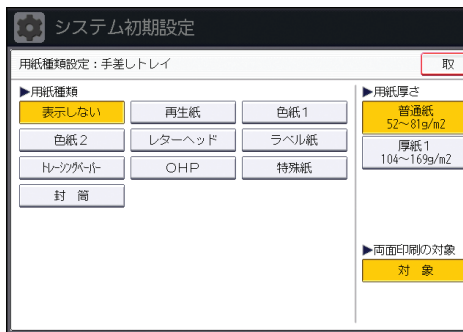
厚紙、OHP フィルムをセットする

重要

- OHP フィルムに印刷するときは、必ず A4、$8^1/_2$×11をセットし、用紙サイズを選択してください。
- OHP フィルムは印刷面が決まっています。カット部分に気をつけてセットしてください。
- OHP フィルムに印刷するときは、印刷された OHP フィルムを 1 枚ずつ取り除いてください。

1. [初期設定/カウンター］キーを押します。

2. [用紙設定］を押します。
3. [▼次へ］を押します。
4. [用紙種類設定：手差しトレイ］を押します。
5. セットする用紙の種類に応じて、適切な項目を選択します。

   OHP フィルムをセットするときは、「用紙種類」から［OHP］を選択します。

   厚紙をセットするときは、「用紙種類」から［表示しない］を、「用紙厚さ」から適切な項目を選択します。

6. ［設定］を押します。

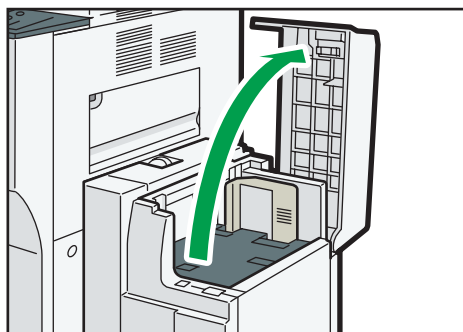
7. ［初期設定/カウンター］キーを押します。

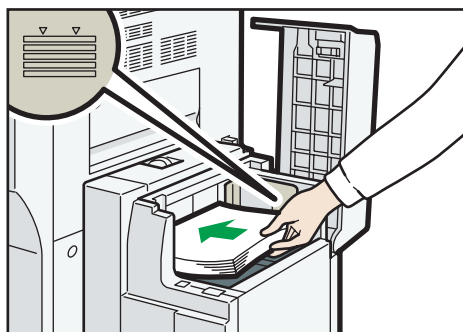
- 紙厚の用紙設定については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

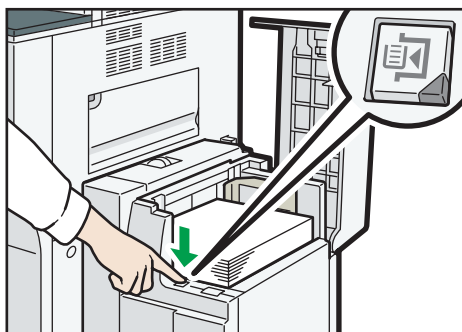
大量給紙トレイに用紙をセットする

重要

- 大量給紙トレイはA4専用の給紙トレイです。B4、A4、B5、$8^{1}/_{2}\times14$、または$8^{1}/_{2}\times11$の用紙をセットするときは、サービス実施店に連絡してください。
- B4、A4、$8^{1}/_{2}\times14$、または$8^{1}/_{2}\times11$の用紙をセットするときは、拡張ユニットが必要です。

1. 大量給紙トレイの上カバーを開けます。

2. 印刷する面を上にして、用紙をトレイの左側に突き当てるようにセットします。

上限表示を超えないようにしてください。

3. トレイ下降キーを押します。

底板が下降する間、キーが点滅します。

CJW110

4. 手順 2、3 を繰り返して用紙をセットします。

5. 大量給紙トレイの上カバーを閉めます。

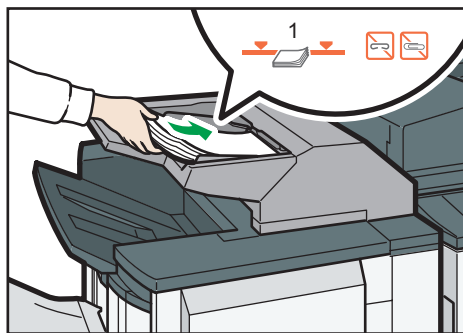
2

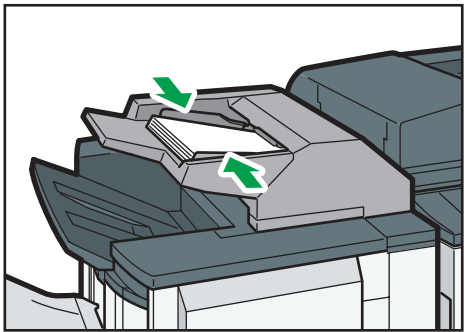
インサーターに用紙をセットする

重要

- 用紙は、印刷済みの面（おもてにしたい面）を上にしてセットしてください。ただし、フィニッシャー SR4070 の中とじステープルと組み合わせて使用するときは、印刷済みの面（おもてにしたい面）を下にしてセットしてください。
- インサーターにセットする用紙は、給紙トレイから給紙する用紙と同じ向きにセットしてください。
- パンチ、ステープルの位置は、本機に向かって用紙をセットした左側になります。
- センサーの上に物を置いたり、用紙が浮いた状態でコピーしないでください。サイズが正しく読み取れなかったり、用紙づまりのメッセージが表示されることがあります。
- Z 折り機能を使用しているときは、インサーターには Z 折り後の用紙サイズと同じサイズの用紙をセットしてください。Z 折り後の用紙サイズより大きいサイズの用紙をセットすると、用紙がつまることがあります。
- 本機で一度コピーまたは印字した用紙は使用しないでください。

1. 用紙をそろえてセットします。

上限表示を超えないようにしてください。

1. 上限表示

2. サイドフェンスをセットする用紙サイズに合わせます。

補足

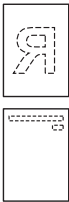
- インサーターに用紙をセットするときは、自動原稿送り装置（ADF）にセット方向を合わせてください。

インサーター	自動原稿送り装置（ADF）

天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）

レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏がある用紙は、正しく印刷されないことがあります。使用する機能に合わせて、初期設定を変更してください。また、原稿と用紙を正しくセットしてください。

初期設定の設定

- コピー機能を使用するとき

  ［コピー／ドキュメントボックス初期設定］の［周辺設定］で、［レターヘッド紙使用設定］を［使用する］に設定してください。［レターヘッド紙使用設定］については、『コピー/ドキュメントボックス』「コピー／ドキュメントボックス初期設定」を参照してください。

- プリンター機能を使用するとき

  ［プリンター初期設定］の［システム設定］で、［レターヘッド紙使用設定］を［使用する（自動判定）］または［使用する（常時）］に設定してください。［レターヘッド紙使用設定］については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。

原稿と用紙のセット方向

使用しているアイコンの意味は次のとおりです。

アイコン	意味
R	読み取る面、印刷する面を上にセットしてください。
	読み取る面、印刷する面を下にセットしてください。

- 原稿のセット方法

原稿の向き	原稿ガラス	自動原稿送り装置（ADF）
タテ長（）		
ヨコ長（）	• コピー機能のとき • スキャナー機能のとき	

- 用紙のセット方法
    - コピー機能を使用するとき

印刷面	トレイ 1	トレイ 2～4	大量給紙トレイ	手差しトレイ
片面時				
両面時				

- プリンター機能を使用するとき

印刷面	トレイ 1	トレイ 2～4	大量給紙トレイ	手差しトレイ
片面時				
両面時				

補足

- プリンター機能を使用するとき
    - レターヘッド紙印刷設定を［使用する（自動判定)］に設定したときは、プリンタードライバーの用紙種類が［レターヘッド付き用紙］の場合にレターヘッド紙として印刷します。
    - 印刷の途中で片面印刷から両面印刷になったときは、1部目と2部目以降で片面印刷の印刷面が異なる場合があります。印刷面を同一にしたいときは、片面印刷のページと両面印刷のページで給紙するトレイを分けて、片面印刷を給紙するトレイは両面印刷不可の設定をしてください。
    - 両面印刷の方法は、『プリンター』「用紙の両面に印刷する」を参照してください。
- コピー機能を使用するとき
    - 両面コピーの方法は、『コピー/ドキュメントボックス』「両面にコピーする」を参照してください。

3. 用紙サイズを変更する

用紙サイズを変更する方法について説明します。

用紙サイズを変更するときの注意事項

⚠注意

- 用紙（記録紙）を交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

重要

- **セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。**

補足

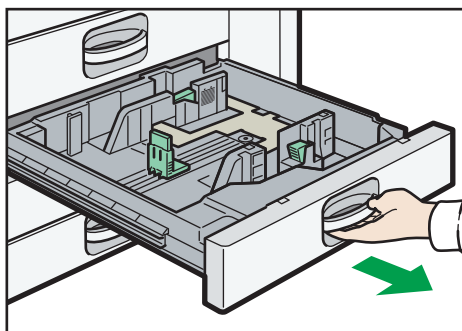
- トレイ 1（タンデムトレイ）と大量給紙トレイは A4▯専用の給紙トレイです。その他の用紙サイズに変更するときは、サービス実施店に連絡してください。
- 用紙のサイズを変更したときは、[用紙設定] でサイズ表示と初期設定値を正しく変更してください。用紙がつまることがあります。[用紙サイズ設定：トレイ 2] ～ [用紙サイズ設定：トレイ 4] については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。
- 複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をパラパラとほぐしてからセットしてください。
- カールしている用紙、そりのある用紙は直してからセットしてください。
- セットできる用紙サイズ、種類は、P.37「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。

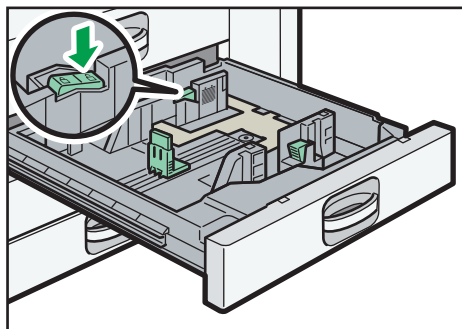
トレイ 2〜4 の用紙サイズを変更する

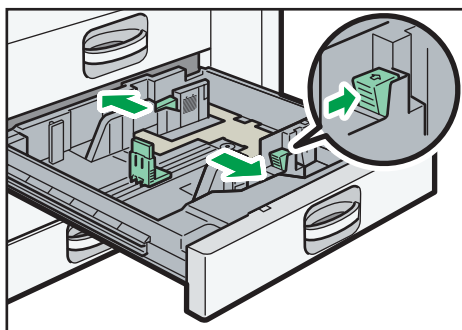
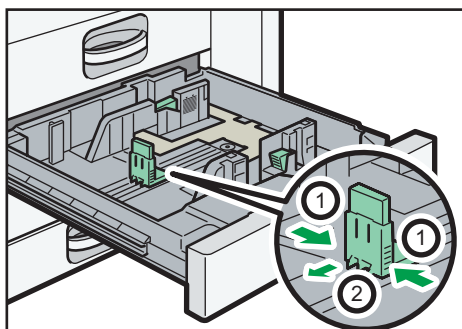
用紙サイズを変更する方法は各トレイとも同じです。ここでは、トレイ 2 の用紙サイズを変更する方法を例に説明します。

重要

- 用紙の先端が右側にそろっていることを確認してください。
- サイドフェンスを用紙幅にすき間なく押し当てた状態で、ロックボタンを押してサイドフェンスを固定してください。用紙とサイドフェンスの間にすき間があると、画像がずれたり、52〜59g/m^2（45〜51kg）の用紙を使用したときにしわになったりすることがあります。
- 給紙トレイを戻すときに勢いよく押し込むと、トレイのサイドフェンスの位置がずれることがあります。
- 用紙を少数枚セットしたときは、サイドフェンスを寄せすぎないでください。サイドフェンスを寄せすぎると、端が折れたり、用紙がつまったり、52〜59g/m^2（45〜51kg）の用紙を使用したときにしわになることがあります。

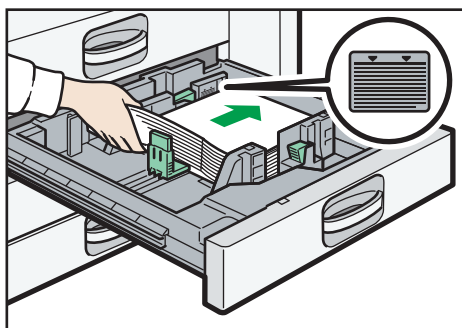
1. 給紙トレイから用紙が給紙されていないことを確認し、給紙トレイをゆっくりと引き出します。

CJV104

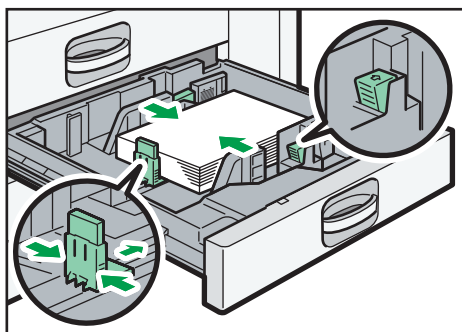
2. 用紙がセットされているときは取り出します。
3. サイドフェンスのロックを解除します。

CJV106

4. 解除レバーを押しながらサイドフェンスを広げます。

5. エンドフェンスを広げます。

1. エンドフェンスの両脇をつまむ。
2. エンドフェンスを広げる。

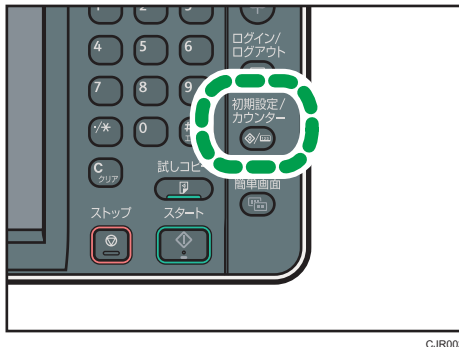
6. 印刷する面を上にして、用紙をそろえてセットします。

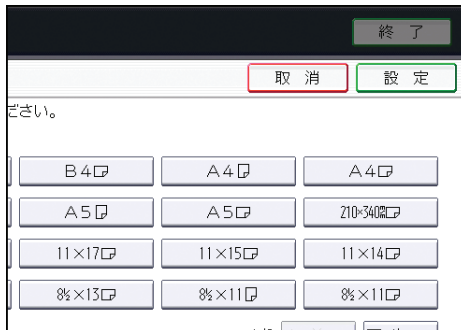
上限表示を超えないようにしてください。

7. 解除レバーを押さえながら、サイドフェンスとエンドフェンスをセットした用紙サイズに合わせます。

サイドフェンスとエンドフェンスのあいだに空間ができないようにしてください。

8. サイドフェンスをロックします。
9. 給紙トレイをゆっくりと奥まで押し込みます。
10. 画面で用紙サイズを確認します。

自動検知されないサイズの用紙をセットする

自動検知されないサイズの用紙をセットするときは、操作部で用紙サイズを設定する必要があります。

1. [初期設定/カウンター] キーを押します。

CJR003

2. [用紙設定] を押します。
3. 用紙サイズを設定したいトレイを選択します。
4. セットした用紙サイズとセット方向の組み合わせを選択して、[設定] を押します。

5. [初期設定/カウンター] キーを押します。

補足

- 自動検知可能な用紙サイズについては、P.37「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
- サイズが自動検知されない用紙で印刷したあと、自動検知される用紙で印刷するときは、自動検知の設定に戻す必要があります。用紙をセットし直してから手順 4 まで進み、[自動検知] を選択して [設定] を押すと、自動検知の設定に戻ります。[初期設

定/カウンター] キーを押して通常の画面に戻ると、自動検知される用紙での印刷やコピーを開始できます。

4. セットできる用紙

各トレイに使用できる用紙のサイズと種類、使用できない用紙、用紙の保管方法について説明します。

セットできる用紙サイズ、種類

各トレイにセットできる用紙の種類、サイズ、枚数について説明します。

重要

- **湿気を吸ったそりのある用紙を使用すると、ステープラーの針がつまったり、紙づまりを起こすことがあります。**
- **インクジェット専用紙、ジェルジェット専用紙はセットしないでください。故障の原因となります。**
- **OHP フィルムをセットするときは、表裏を誤らないように注意してください。故障の原因となります。**
- **厚紙をセットするときは、P.44「厚紙」を参照してください。**
- **はがきをセットするときは、P.45「はがき」を参照してください。**

imagio MP 9002/7502/7502 SP/6002/6002 SP/6002GP の本体給紙トレイ

- トレイ 1

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通上質紙、厚紙 52〜169g/m² （45〜145kg）	• タンデムトレイとして使用するとき A4▯、B5▯、8 1/2×11▯ • タンデムトレイとして使用しないとき A3▭、B4▭、A4▭、B5▭、11×17▭、8 1/2×14▭、8 1/2×11▭	• タンデムトレイとして使用するとき 540 枚＋ 540 枚 • タンデムトレイとして使用しないとき 540 枚

トレイのフェンスは固定です。用紙サイズを変更するときは、サービス実施店に連絡してください。

- トレイ 2〜3

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通上質紙、厚紙 52〜169g/m^2 (45〜145kg)	• 自動検知される用紙サイズ： A3、A4、A5、B4、B5、11×17、$8^{1}/_{2}$×14、$8^{1}/_{2}$×13、$8^{1}/_{2}$×11、$8^{1}/_{4}$×13、8×13、$7^{1}/_{4}$×$10^{1}/_{2}$、$5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$、8K、16K • 初期設定で用紙サイズの設定が必要： $8^{1}/_{4}$×14、8×$10^{1}/_{2}$、182×210mm、170×210mm、210×340mm、11×15、11×14、10×15 • 不定形サイズ*1： タテ 139.7〜297.0mm、ヨコ 139.7〜432.0mm	590 枚
普通上質紙 52〜103g/m2 (45〜89kg)	A5、$5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$	590 枚
インデックス紙*2 52〜169g/m^2 (45〜145kg)	A4、$8^{1}/_{2}$×11、$8^{1}/_{2}$×14	590 枚

*1 不定形サイズを使用するときは、サービス実施店に連絡してください。

*2 インデックス紙をセットするときは、インデックスフェンスが必要です。

- トレイ 4

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通上質紙、厚紙 52〜216g/m^2 (45〜186kg)	• 自動検知される用紙サイズ： A3、A4、A5、B4、B5、11×17、$8^{1}/_{2}$×14、$8^{1}/_{2}$×13、$8^{1}/_{2}$×11、$8^{1}/_{4}$×13、8×13、$7^{1}/_{4}$×$10^{1}/_{2}$、$5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$、8K、16K • 初期設定で用紙サイズの設定が必要： $8^{1}/_{4}$×14、8×$10^{1}/_{2}$、182×210mm、210×340mm、11×15、11×14、10×15 • 不定形サイズ*1： タテ 139.7〜297.0mm、ヨコ 180.0〜432.0mm	590 枚

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
インデックス紙[*2] 52～216g/m^2 （45～186kg）	A4、$8^{1}/_{2}$×11、$8^{1}/_{2}$×14	590 枚

*1 不定形サイズを使用するときは、サービス実施店に連絡してください。

*2 インデックス紙をセットするときは、インデックスフェンスが必要です。

imagio MP 9002T の本体給紙トレイ

- トレイ 1

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通上質紙、厚紙 52～169g/m^2 （45～145kg）	A4、$8^{1}/_{2}$×11	1,680 枚＋ 1,680 枚

トレイのフェンスは固定です。用紙サイズを変更するときは、サービス実施店に連絡してください。

- トレイ 2

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通上質紙、厚紙 52～169g/m^2 （45～145kg）	• 自動検知される用紙サイズ： A3、A4、A5、B4、B5、11×17、$8^{1}/_{2}$×14、$8^{1}/_{2}$×13、$8^{1}/_{2}$×11、$8^{1}/_{4}$×13、8×13、$7^{1}/_{4}$×$10^{1}/_{2}$、$5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$、8K、16K • 初期設定で用紙サイズの設定が必要： $8^{1}/_{4}$×14、8×$10^{1}/_{2}$、182×210mm、170×210mm、210×340mm、11×15、11×14、10×15 • 不定形サイズ[*1]： タテ 139.7～297.0mm、ヨコ 139.7～432.0mm	590 枚
普通上質紙 52～103g/m2 （45～89kg）	A5、$5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$	590 枚
インデックス紙[*2] 52～169g/m^2 （45～145kg）	A4、$8^{1}/_{2}$×11、$8^{1}/_{2}$×14	590 枚

*1 不定形サイズを使用するときは、サービス実施店に連絡してください。

*2 インデックス紙をセットするときは、インデックスフェンスが必要です。

- トレイ 3

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通上質紙、厚紙 52〜216g/m^2 （45〜186kg）	• 自動検知される用紙サイズ： A3、A4、A5、B4、B5、11×17、$8^{1}/_{2}$×14、$8^{1}/_{2}$×13、$8^{1}/_{2}$×11、$8^{1}/_{4}$×13、8×13、$7^{1}/_{4}$×$10^{1}/_{2}$、$5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$、8K、16K • 初期設定で用紙サイズの設定が必要： $8^{1}/_{4}$×14、8×$10^{1}/_{2}$、182×210mm、210×340mm、11×15、11×14、10×15 • 不定形サイズ*1： タテ 139.7〜297.0mm、ヨコ 180.0〜432.0mm	590 枚
インデックス紙*2 52〜216g/m^2 （45〜186kg）	A4、$8^{1}/_{2}$×11、$8^{1}/_{2}$×14	590 枚

*1 不定形サイズを使用するときは、サービス実施店に連絡してください。

*2 インデックス紙をセットするときは、インデックスフェンスが必要です。

4

手差しトレイ

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通上質紙、厚紙 52〜216g/m^2 （45〜186kg）	• 自動検知される用紙サイズ： A3、A4、A5、B4、B5、B6 • 用紙サイズの設定が必要*1： A6、11×17、$8^1/_2$×14、$8^1/_2$×13、$8^1/_2$×11、$8^1/_4$×14、$8^1/_4$×13、8×13、8×$10^1/_2$、8×10、$7^1/_4$×$10^1/_2$、$5^1/_2$×$8^1/_2$、11×15、11×14、10×15、10×14 • 不定形サイズ*2： 　• フィニッシャー未装着時： 　タテ 100.0〜305.0mm、ヨコ 139.7〜600.0mm 　• フィニッシャー SR4060、フィニッシャー SR4070 装着時： 　タテ 100.0〜305.0mm、ヨコ 139.7〜487.6mm 　• フィニッシャー SR4080 装着時： 　タテ 100.0〜305.0mm、ヨコ 139.7〜458.0mm	100 枚 30 枚（厚紙 1） 20 枚（厚紙 2）
トレーシングペーパー（第二原図用紙）	A3、A4、B4、B5	50 枚
OHP フィルム	• フィニッシャー未装着時： A4、$8^1/_2$×11 • フィニッシャー装着時： A4	50 枚
郵便はがき	自動検知される用紙サイズ：郵便ハガキ	30 枚
ラベル紙（ハクリ紙）	• フィニッシャー未装着時： B4、A4 • フィニッシャー装着時： A4	1 枚

*1 用紙サイズを選択してください。コピー機能を使用するときは、『コピー/ドキュメントボックス』「手差しトレイから定形サイズの用紙にコピーする」を参照してください。プリンター機能を使用するときは、P.20「定形サイズの用紙をセットする」を参照してください。

*2 ヨコの長さが 432mm 以上の用紙を使用すると、しわができたり、用紙が送られなかったり、紙づまりを起こすことがあります。

4

大量給紙トレイ

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通上質紙、厚紙 52〜128g/m^2 （45〜110kg）	A4▯、B5▯、$8^{1}/_{2}$×11▯	4,500 枚

トレイのフェンスは固定です。用紙サイズを変更するときは、サービス実施店に連絡してください。

拡張ユニット

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通上質紙、厚紙 52〜128g/m^2 （45〜110kg）	A4▯▭、B4▭、B5▯、$8^{1}/_{2}$×14▭、$8^{1}/_{2}$×11▯▭	2,500 枚

インサーター

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通上質紙、厚紙 64〜216g/m^2 （55〜186kg）	A3▭、A4▯▭、A5▯▭、B4▭、B5▯▭、11×17▭、$8^{1}/_{2}$×11▯▭	200 枚

用紙厚さについて*1

用紙厚さの定義は、以下のとおりです。

用紙厚さ*2	最小用紙紙厚	最大用紙紙厚
普通紙 1	52g/m^2（45kg）	74g/m^2（63kg）
普通紙 2	75g/m^2（64kg）	81g/m^2（70kg）
中厚口	82g/m^2（70kg）	103g/m^2（89kg）
厚紙 1	104g/m^2（90kg）	169g/m^2（145kg）
厚紙 2	170g/m^2（146kg）	216g/m^2（186kg）

*1 最小用紙紙厚または最大用紙紙厚に近い厚さの用紙を使用すると、印刷結果が不適切になることがあります。そのときは、用紙厚さを薄め/厚めの設定に切り替えて印刷してください。

*2 52〜59g/m^2（45〜51kg）の用紙を使用するとき、用紙の種類によっては、端が折れたり用紙がつまることがあります。

［普通紙 1］、［普通紙 2］について

［システム初期設定］の［用紙設定］で各トレイの用紙種類設定を［普通紙］に設定したときの工場出荷時の設定は［普通紙 1］です。

74g/m^2（63kg）を超える用紙をセットするときは［調整／管理］の［普通紙設定］で［普通紙 2］を使用するトレイに設定してください。

設定方法について詳しくは、P.48「普通紙設定」を参照してください。

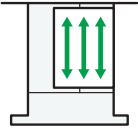
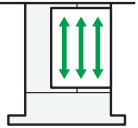
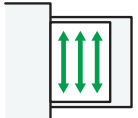
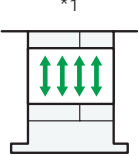
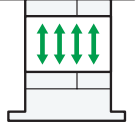
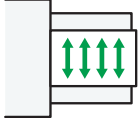
［特殊紙］について

用紙の用途に合わせて条件を設定できます。

利用するときには、あらかじめサービス実施店に連絡してください。

補足

- 用紙の種類によっては用紙をさばく音が発生することがありますが品質には影響ありません。（音の発生しやすい用紙：ツルツルすべる用紙、OHP フィルム、トレーシングペーパー（第二原図用紙）、郵便はがきなど）
- 普通上質紙のセットできる枚数は、「マイペーパー」のときの枚数を記載しており、目安を表しています。
- 用紙をセットするときは、上限表示を超えないようにしてください。紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。
- 重送が発生したときは、用紙をさばいてセットするか、手差しトレイに 1 枚ずつセットしてください。
- 用紙はできるだけ当社製品を使用してください。用紙の厚さが適当であれば市販されているものを使用できます。「マイペーパー」程度のものが最適です。
- カールやそりがあるときは矯正してからセットしてください。
- はがきをセットするときは、P.45「はがき」を参照してください。
- 厚紙（157〜216g/m^2（135〜186kg））をセットするときは、P.44「厚紙」を参照してください。
- ソート機能を使用するとき、両面印刷をするときは、印刷速度が遅くなることがあります。
- インデックス紙を使用すると、印刷速度が遅くなることがあります。
- レターヘッド紙を使用するときは、機能によって用紙のセット方向や向きが異なります。P.28「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）」を参照してください。
- 同じサイズ、同じ方向の用紙が複数の給紙トレイにセットされていると、コピー中に用紙がなくなったとき、手差しトレイを除く他の給紙トレイから自動的に続けて給紙できます。これを「リミットレス給紙」といいます。（ただし「用紙種類設定」で再生紙や特殊紙を設定したトレイは同じ設定をした他のトレイにのみリミットレス給紙します。）大量にコピーするときでも、用紙補給でコピーが中断されずにすみます。給紙トレイの用紙種類は、［用紙種類設定：トレイ 1］～［用紙種類設定：トレイ 4］または［用紙種類設定：大量給紙トレイ］で設定できます。『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。「リミットレス給紙」については、『コピー/ドキュメントボックス』「基本コピー設定」を参照してください。
- ラベル紙（ハクリ紙）をセットするとき

- ラベル紙（ハクリ紙）のセット枚数は「リコー PPC 用紙タイプ SA」使用時のものです。
    - ラベル紙（ハクリ紙）は当社製品をお勧めします。指定以外の用紙を使用したときは、正常な動作および品質の保証ができません。
    - 手差しトレイを選択して［#］キーを押し、「手差し用紙設定」画面の［用紙種類］で［厚紙 1］、［厚紙 2］のいずれかを選択してください。
- OHP フィルムをセットするとき
    - なるべく 1 枚ずつセットしてください。
    - OHP フィルムにコピーするときは、『コピー/ドキュメントボックス』「OHP フィルムにコピーする」を参照してください。
    - パソコンから OHP フィルムに印刷するときは、P.22「厚紙、OHP フィルムをセットする」を参照してください。
    - さばいてからセットしてください。トレイにセットしたまま放置していると密着して用紙送りを妨げる原因になります。
    - 出てきた出力紙は 1 枚ずつ取り除いてください。
    - 印刷速度が遅くなることがあります。
- トレーシングペーパー（第二原図用紙）をセットするとき
    - なるべく 1 枚ずつセットしてください。
    - 出てきた出力紙は 1 枚ずつ取り除いてください。
    - トレーシングペーパー（第二原図用紙）のセット枚数は、「リコー PPC 用紙 タイプ TA」使用時のものです。
    - トレーシングペーパー（第二原図用紙）は、縦目通紙で使用してください。用紙には繊維の流れる方向（すき目）によって、縦目（T 目）と横目（Y 目）があります。用紙は推奨すき目にしたがってセットします。
    - 吸湿によりカールしやすいため、カールが大きいときは矯正してからセットしてください。

厚紙

厚紙をセットするときの推奨条件について説明します。

157g/m^2（135kg）を超える用紙をセットするときは、以下の推奨条件で使用してください。推奨条件以外で使用すると、紙づまりの原因になったり、印刷品質に影響が出ることがあります。

- 推奨室内環境：温度 20〜25℃、湿度 30〜65％の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。
- 厚紙をセットするときは、20 枚以上をセットしてください。また、用紙をセットしたあと、サイドフェンスを用紙へ軽く突き当て直してください。

- 表面が滑らかな厚紙を使用するときは、印刷のたびに用紙をさばいてからセットしてください。紙づまりや重送が発生することがあります。用紙をさばいてからセットしても重送や紙づまりが発生するときは、1 枚ずつ用紙をセットしてください。
- 用紙の推奨すき目：用紙には繊維の流れる方向（すき目）によって、縦目（T 目）と横目（Y 目）があります。用紙は推奨すき目にしたがって次のようにセットしてください。

用紙のすき目	トレイ 1	トレイ 2〜4	手差しトレイ
	*1		

*1 imagio MP 9002T のトレイ 1 は、方向に用紙をセットできません。

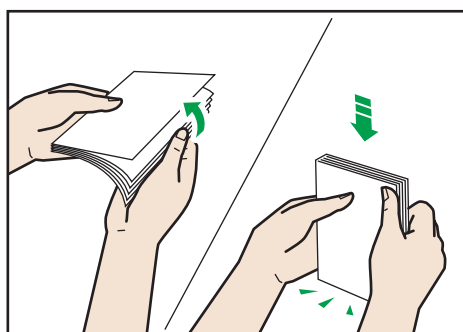
補足

- 印刷速度が遅くなることがあります。
- 「システム初期設定」の［用紙設定］で［厚紙 1］、［厚紙 2］のいずれかを選択してください。
- 推奨条件で使用したときでも、用紙によっては正常な動作および品質の保証ができないことがあります。
- 用紙に縦スジ（折れ癖）が目立つことがあります。
- 印刷後のカールが大きいことがあります。そのときは矯正してください。

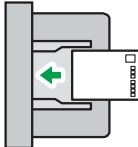
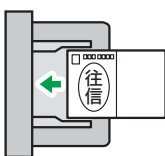
はがき

はがきをセットするときの推奨条件について説明します。

重要

- **市販の郵便はがきがセットできます。**
- **往復はがきは折り目のないものを使用してください。**
- **用紙がカールしていると、紙づまりの原因になったり、印刷品質に影響が出たりします。カールを直してから用紙をセットしてください。**
- **はがきをセットするときは、パラパラとほぐしてから端をそろえてください。**

コピー機能を使用するとき

はがきの種類と向きによって、原稿ガラスやトレイにセットする方法が異なります。はがきにコピーするときは、次のようにセットしてください。

はがきの種類と向き	原稿ガラス	手差しトレイ
郵便はがき	• はがきの下辺：右側 • 読み取り面：下	• はがきの下辺：右側 • 印刷する面：上
往復はがき	• はがきの下辺：手前側 • 読み取り面：下	*1 • はがきの下辺：奥側 • 印刷する面：上

*1 往復はがきのサイズを指定してください。サイズを指定する方法は、『コピー/ドキュメントボックス』「手差しトレイから不定形サイズの用紙にコピーする」を参照してください。

はがきをセットしたあと、用紙サイズと用紙種類を設定してください。『コピー/ドキュメントボックス』「はがきにコピーする」を参照してください。

プリンター機能を使用するとき

はがきの種類と向きによって、トレイにセットする方法が異なります。はがきに印刷するときは、次のようにセットしてください。

はがきの種類と向き	手差しトレイ
郵便はがき	• はがきの下辺：左側 • 印刷する面：上
往復はがき	*1 • はがきの下辺：手前側 • 印刷する面：上

*1 往復はがきのサイズを指定してください。サイズを指定する方法は、P.21「不定形サイズの用紙をセットする」を参照してください。

はがきをセットしたあと、用紙サイズと用紙種類を設定してください。『プリンター』「はがきに印刷する」を参照してください。

補足

- 両面印刷はできません。
- 郵便はがきの厚紙の種類は［厚紙 2］をお勧めします。使用するはがきの用紙厚さに合わせて設定を変更してください。それぞれの設定の用紙厚さについては、P.37「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
- なるべく 1 枚ずつセットしてください。

普通紙設定

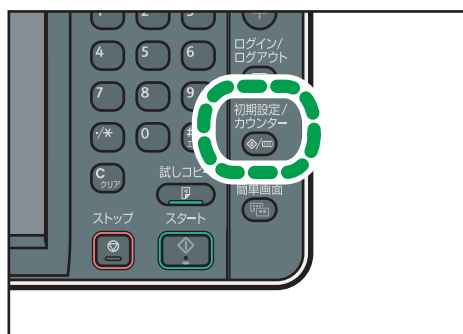
セットする普通紙の種類として、紙の厚さにより［普通紙 1］、［普通紙 2］のどちらかを選択します。

［システム初期設定］の［用紙設定］で、各トレイの「用紙種類設定」の「用紙厚さ」を［普通紙］に設定したときは、セットした紙の厚さによって［調整／管理］の［普通紙設定］で［普通紙 1］または［普通紙 2］のどちらかを選択します。工場出荷時は［普通紙 1］に設定されています。

重要

- ［普通紙 1］は 52〜74g/m^2（45〜63kg）の用紙をセットするときに設定します。
- ［普通紙 2］は 75〜81g/m^2（64〜70kg）の用紙をセットするときに設定します。

4

1. ［初期設定/カウンター］キーを押します。

CJR003

2. ［調整／管理］を押します。
3. ［普通紙設定］を押します。
4. セットする用紙に合わせて、各トレイの普通紙の種類を選択し、［設定］を押します。
5. ［初期設定/カウンター］キーを押します。

補足

- ［システム初期設定］の［用紙設定］の各トレイの用紙種類設定で「用紙厚さ」を設定できます。用紙の厚さについては、P.37「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。［システム初期設定］の［用紙設定］については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

使用できない用紙

⚠注意

- ステープラーの針がついたままの用紙や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

重要

- 次のような表面が加工された用紙は使用しないでください。故障の原因になります。
    - インクジェット用紙/ジェルジェット用紙
    - 感熱紙
    - アート紙
    - 銀紙
    - カーボン紙
    - 導電性の用紙
    - カラー用 OHP 用紙
    - ミシンがけ用紙
    - ふちどり用紙
    - 封筒
- コピーの二重通しはしないでください。故障の原因になります。(二重通しとは、同じコピー面にコピーすることです。)

補足

- 次の用紙はセットしないでください。紙づまりが発生することがあります。
    - そり、折れ、しわのある用紙
    - 穴があいている用紙
    - ツルツルすべる用紙
    - 破れのある用紙
    - すべりにくい用紙
    - 薄くてやわらかい用紙
    - 表面に紙粉が多い用紙
- 推奨用紙を使用したときでも、用紙の状態によっては紙づまりが発生することがあります。
- 目の粗いまたは凹凸のある用紙に印刷すると画像がかすれることがあります。
- 本機以外で一度コピーまたは印字された用紙は再使用しないでください。用紙の保管状態によっては、紙づまりなどが発生することがあります。

4

- 絵入りのはがきなどを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ローラーに付着し、給紙できなくなることがあります。

用紙の保管

- 用紙の保管には、次の注意を守ってください。
    - 直射日光の当たらないところに置いてください。
    - 乾燥したところ（湿度 70%以下）に置いてください。
    - 平らなところに置いてください。
    - 用紙は立てかけないでください。
- 一度開封した用紙は湿気を吸わないようにポリ袋に入れてください。